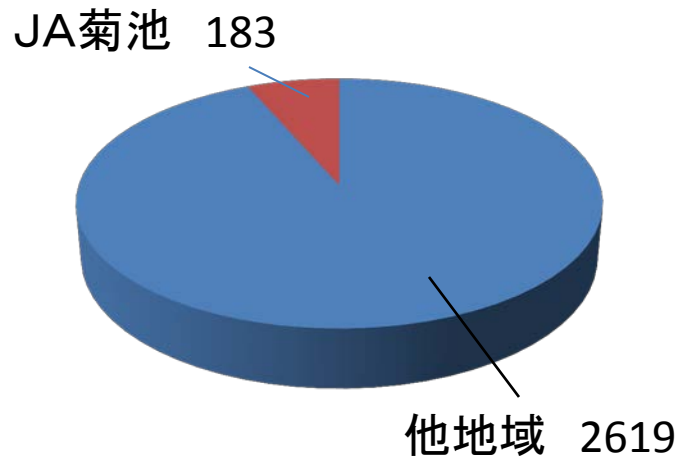
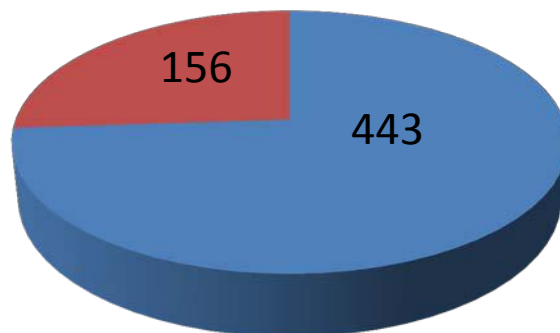


JA菊池管内の飼養頭数

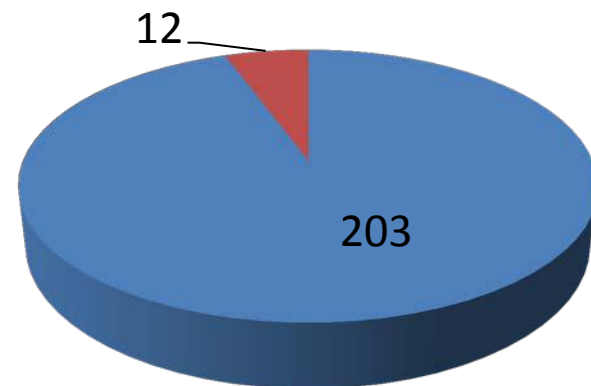
肉用牛戸数



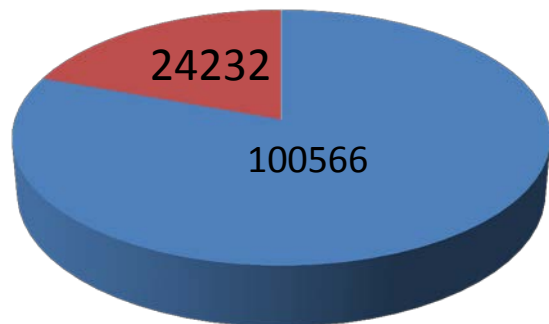
酪農戸数



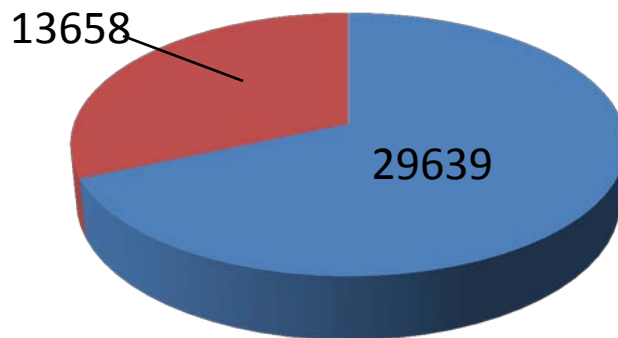
養豚戸数



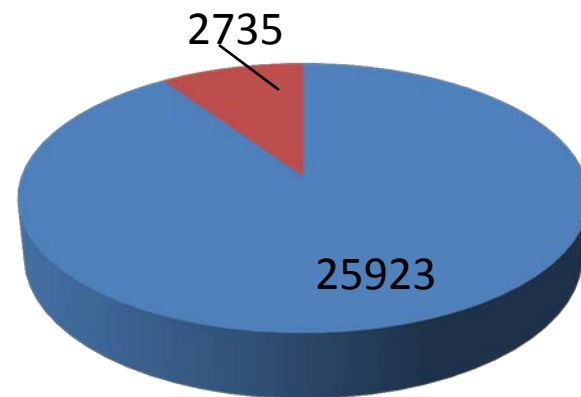
肉用牛頭数



乳用牛頭数



母豚頭数



有機支援センター（3カ所）概要①

- 堆肥生産量：6,655t／年（バラ6,367t、ペレット288t）
- 堆肥化方法：開放型攪拌方式
- 堆肥形状：バラ、ペレット
- 持込料：500円／t
- 施設面積：約14,000m²
- 従業員：13人
- 主な取引先：JA熊本市
 - JA八代（熊本県八代市）
 - JA大浜（熊本県玉名市）
 - JA福岡（主に八女市）
 - 佐賀県の商社

有機支援センター（3カ所）概要②

＜平成27年度＞

事業収入 4,828万



バラ、ペレット	3,849万
処理料	476万
運賃等	503万

事業支出 4,535万



人件費	1,790万
事業費	1,069万
施設費	1,280万
その他	396万



差引 292万

有機支援センター概要



有機支援センター旭志
(4, 186m²)



有機支援センター合志
(6, 992m²)



有機支援センター菊池 (2, 888m²)

有機支援センター概要



センター内部

有機支援センター概要



ペレット製造機械

ペレット堆肥



有機支援センター概要



ペレット堆肥の特徴

1. 低水分のため長期保存可能
2. 凝縮しているため散布が容易
3. ライムソワー、ブロードキャスターでも散布可能



GP 主要な成分の含有量等

○窒素 1.94% ○りん酸 2.80% ○加里 3.10%

GKP 主要な成分の含有量等

○窒素 3.01% ○りん酸 4.19% ○加里 3.53%

堆肥流通のこと

JA間連携について①

農家個別で行っていた堆肥の流通を
JAが請け負うこととした



例) JA八代(い草、生姜用)へ堆肥を供給開始



いくつかの問題が発生・・・



JA間連携について②

<主な問題点>

- ①流通の諸々 → 経費、距離・地形的問題
- ②堆肥の品質 → 高品質な堆肥を生産する必要
- ③他堆肥の競合 → 他地域の堆肥と差別化



JA間の連携を密にして問題解決を図った！



JA間連携について③

<問題解決のために取り組んだこと>

①流通

JA菊池有機センター



JA八代ストックヤード



各生産者へ



エサ運搬＋堆肥運搬

コスト↓



地元の配送業者
へ委託

J A間連携について④

<問題解決のために取り組んだこと>

②堆肥の品質向上)

- ・回転式の**選別機**を設置
(異物混入防止)
- ・堆肥づくり講習を受講
(認定制度「**堆肥の達人**」を取得)



たい肥の達人ロゴ